

第2回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合の開催について

平成13年10月30日

原子力委員会

1. 開催趣旨

我が国と地理的・経済的に密接な関係にある近隣アジア地域は、原子力研究開発利用において、放射線農業・医学利用及び放射性廃棄物管理等の共通課題を有しており、これらに取り組むに当たって、近隣アジア諸国が相互に協力しあうことが重要である。

かかる認識のもと、原子力委員会では、近隣アジアにおける地域協力の具体化に向けた意見交換・情報交換を行い、地域協力に関する関係各国のコンセンサスを得ることを目的として、昨年、タイにおいて第1回会合を開催した。

第2回会合では、「持続可能な発展と原子力」及び「放射線利用分野における協力のあり方」などについて、大臣級参加者による意見交換を行う。

2. 主催

原子力委員会

3. 開催時期

平成13年11月29日(木)

4. 開催場所

東京都港区、高輪プリンスホテル

5. 参加国

オーストラリア、中国、インドネシア、日本、韓国、
マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム

6. プログラム（案）

2001 年 11 月 29 日（木）：大臣級会合（MM：Ministerial level Meeting）

9:30 - 9:40 冒頭挨拶

<写真撮影>

【午前セッション】

9:40 -10:50 カントリーレポートの発表Ⅰ（70分）

（各国発表約10分×5カ国）

10:50-11:00 <休憩>

11:00-12:00 カントリーレポートの発表Ⅱ（60分）

（各国発表約10分×4カ国）

12:00-13:30 <昼食>

【午後セッション】

13:30-15:00 ラウンドテーブルディスカッションⅠ（90分）

「持続可能な発展と原子力」

15:00-15:15 <休憩>

15:15-16:45 ラウンドテーブルディスカッションⅡ（90分）

「放射線利用分野における協力のあり方」

16:45-17:00 議長サマリーまとめ

16:45-17:00 閉会挨拶

ポイント・オブ・ディスカッション（案）
（第2回FNC A円卓討議）

平成13年11月20日

I. 「持続可能な発展と原子力」

－ 3 E（Energy Security、Environmental Protection、Economic Growth）をどう実現するか －

- （1）エネルギー需給の中・長期的見通しについて
- （2）原子力の位置づけと導入の際の課題（経済性・環境適合性・国民の受容）
- （3）FNC A参加国における持続可能な発展と原子力の関係

※ リードオフスピーチは日本が行う

II. 「放射線利用の協力のあり方」

- （1）放射線利用の普及（医療（治療・診断）、工業（新素材創製等）、農業（食品照射等）等と新産業創出
- （2）放射線利用技術の技術移転・技術定着に向けた人材養成、研究協力
- （3）放射線技術研究所とエンドユーザー（産業、農業、医療）の連携強化
- （4）放射線利用により生ずる廃棄物処理処分について
- （5）放射線利用の協力のあり方について

※ リードオフスピーチは日本が行う

第 2 回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合 の開催について

平成13年10月30日
原子力委員会

1. 開催趣旨

我が国と地理的・経済的に密接な関係にある近隣アジア地域は、原子力研究開発利用において、放射線農業・医学利用及び放射性廃棄物管理等の共通課題を有しており、これらに取り組むに当たって、近隣アジア諸国が相互に協力しあうことが重要である。

かかる認識のもと、原子力委員会では、近隣アジアにおける地域協力の具体化に向けた意見交換・情報交換を行い、地域協力に関する関係各国のコンセンサスを得ることを目的として、昨年、タイにおいて第 1 回会合を開催した。

第 2 回会合では、「持続可能な発展と原子力」及び「放射線利用分野における協力のあり方」などについて、大臣級参加者による意見交換を行う。

2. 主催

原子力委員会

3. 開催時期

平成 13 年 11 月 29 日 (木)

4. 開催場所

東京都港区、高輪プリンスホテル

5. 参加国

オーストラリア、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム

6. プログラム

2001 年 11 月 29 日(木):大臣級会合(MM:Ministerial level Meeting)

9:30 - 9:40 冒頭挨拶
<写真撮影>

【午前セッション】

9:40 -10:50 カントリーレポートの発表Ⅰ (70分)
(各国発表約10分×5カ国)

10:50-11:00 <休憩>

11:00-12:00 カントリーレポートの発表Ⅱ (60分)
(各国発表約10分×4カ国)

12:00-13:30 <昼食>

【午後セッション】

13:30-15:00 ラウンドテーブルディスカッションⅠ (90分)
「持続可能な発展と原子力」

15:00-15:15 <休憩>

15:15-16:45 ラウンドテーブルディスカッションⅡ (90分)
「放射線利用分野における協力のあり方」

16:45-17:00 議長サマリーまとめ
閉会挨拶

ポイント・オブ・ディスカッション（案）
（第2回FNCA円卓討議）

平成13年11月20日

I. 「持続可能な発展と原子力」

－ 3.E (Energy Security, Environmental Protection, Economic Growth) をどう実現するか －

- (1) エネルギー需給の中・長期的見通しについて
- (2) 原子力の位置づけと導入の際の課題（経済性・環境適合性・国民の受容）
- (3) FNCA参加国における持続可能な発展と原子力の関係

※ リードオフスピーチは日本が行う

II. 「放射線利用の協力のあり方」

- (1) 放射線利用の普及（医療（治療・診断）、工業（新素材創製等）、農業（食品照射等）等と新産業創出
- (2) 放射線利用技術の技術移転・技術定着に向けた人材養成、研究協力
- (3) 放射線技術研究所とエンドユーザー（産業、農業、医療）の連携強化
- (4) 放射線利用により生ずる廃棄物処理処分について
- (5) 放射線利用の協力のあり方について

※ リードオフスピーチは日本が行う

第2回アジア原子力協力フォーラム海外参加予定者

オーストラリア

John Rolland ジョン・ローランド

ANSTO 政府広報部長

ANSTO:オーストラリア原子力科学技術機構

中国

張 華祝(Zhang Huazhu) チャン・ホア チュー 国家原子能機構主任
 張 福宝(Zhang Fubao) チャン・フー パオ CAEA 工学系統司副司長
 楊 大助(Yang Dazhu) ヤン・ター チュー CAEA 国際合作司副処長
 李 響(Li Xiang) リー・シアン CAEA 国際合作司主管官員
 呂 曉明(Lu Xiaoming) ルー・シャオミン CAEA 主任付秘書
 張 韶萍(Zhang Shaoping) チャン・シャオ ピン CAEA 国際協力部通訳

CAEA: 中国国家原子能機構

インドネシア

Hatta Rajasa ハッタ・ラジャサ 研究技術国務大臣
 Iyos R. Subki イヨス・スブキ BATAN 長官
 Bakri Arbie バクリ・アルビ BATAN 次官

BATAN: インドネシア原子力庁

韓国

Kim Young-Hwan キム・ヨンファン 科学技術部大臣
 Cho Chung-Won チョ・チュンウォン 科学技術部原子力局長
 Chang In-Soon チャン・インスン 韓国原子力研究所長
 Kwon Sang-Won クウォン・サンウォン MOST 技術協力政策課長
 Hong Nam-Pyo ホン・ナムピョ MOST 長官付主任秘書官
 Yoon Dong-Nyeol ユン・ドンニョル MOST 原子力協力課長
 Joe Tai-Surp チョ・テスブ MOST 原子力協力課課長補佐
 Chung Joon-Keuk チュン・ジュンクック 韓国原研プロジェクトマネージャー

MOST: 韓国科学技術省

マレーシア

Law Hieng Ding ロウ・ヒエン ディン

科学技術環境大臣

Ahmad Sobri Haji Hashim

MINT 長官

アーマド・ソブリ・ハジ・ハシム

Daud Mohamad ダウド・モハマド

MINT 次官

Jini Wat ジニ・ワット

大臣付秘書

MINT: マレーシア原子力庁

フィリピン

Rogelio A. Panlasigui ロヘリオ・パンラスィギ 科学技術省次官

Alumanda M. dela Rosa アルマンダ・デラロサ PNRI 所長代行

PNRI: フィリピン原子力研究所

タイ

Kriengkorn Bejraputra クリアンコーン・ペチャラブ OAEP 長官

Pathom Yamakate パトム・ヤムケ OAEP 次官

OAEP: タイ原子力庁

ベトナム

Hoang Van Huay ホアン・ヴァン フェイ 科学技術環境副大臣

Vuong Huu Tan ヴォン・フー タン VAEC 委員長

Le Doan Phac レ・ドアン ファック VAEC 国際関係・企画部副部長

VAEC: ベトナム原子力委員会